

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	東淀川区
学 校 名	井高野小学校
学校長名	小川 加奈

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査内容

#### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

#### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

### 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・井高野小学校では、第6学年 60名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率については、国語科で2ポイント、算数科で3ポイント、理科で4ポイント大阪市平均を下回る結果となった。しかしながら、昨年度の結果と比較して、国語科・算数科ともに大阪市・全国平均とのポイントの差は5ポイント以上縮まっており、基礎学力の定着を目指した日々の学習指導の成果がうかがえる。また、これまでは、平均無答率において、大阪市・全国平均を上回っていたが、今年度の平均無答率は、国語科0.9ポイント、理科0.2ポイントと平均無答率は1ポイントを下回っている。算数科の平均無答率も市・全国平均を1ポイント以上下回っており、粘り強く問題に取り組もうとする姿が育ってきているといえる。

## 分析から見えてきた成果・課題

## 教科に関する調査より

## 〔国語〕

「話すこと・聞くこと」においては、市平均を上回り全国平均との差も1.5ポイントと「聞く」「話す」力の向上がみられる。これには、昨年度までの「学力向上支援チーム事業」による国語科の研究の成果がうかがえる。また、「情報の扱い方に関する事項」では市・全国平均ともに上回っており、集めた情報を正しく活用する力を身に付けているといえる。一方、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は市・全国平均を10ポイント以上下回っており、語彙を増やすなど言葉に関する力をつける必要がある。

## 〔算数〕

「図形」「測定」「変化と関係」の領域において、市・全国平均を上回る結果となっており、公式に当てはめて問題を解決したり、問題を解決するために必要な数量に着目したりする力がついてきている。一方で、「データの活用」の領域では市・全国平均を大きく下回っており、目的に応じて必要な情報を選択し、その理由を言葉や数を用いて他者に分かりやすく記述する力には課題がみられた。

## 〔理科〕

「エネルギー」「粒子」を柱とする領域においては、ほぼ市・全国平均となっており、実際に実験・観察したことを知識として身に付けていることがうかがえる。しかし、「生命」の領域においては課題がみられる。

## 質問調査より

本校では、昨年度に引き続き自己肯定感の向上を目指して取組を進めている。「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の質問に肯定的な回答をする児童の割合は市・全国平均を上回っており、自身が誰かのためになることに喜びを感じるができる児童が多い。一方で、「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に肯定的に回答する割合は、市・全国平均を下回っており、自分に自信が持てないことに課題がある。今年度より研究教科となった「生活科」「総合的な学習の時間」における学習を通じて自己有用感の向上を図っていききたい。また、昨年度に続き、「学校の授業時間以外に、ふだん、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対して、「全くしない」「30分より少ない」と答える児童の割合が50ポイント近くになっており、家庭学習の習慣化は引き続き大きな課題となっている。

## 今後の取組(アクションプラン)

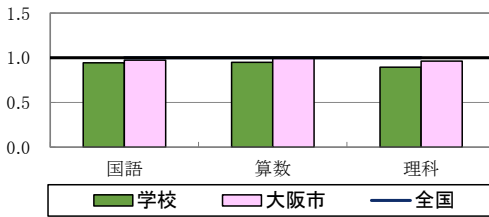
- 国語科・算数科の学習において、言語活動の充実を図り、自分の考えを表現する力や言葉の力を育む。
- 「算数チャレンジ」などのモジュール学習を今年度も継続的に取り入れ、基礎学力の向上と定着を目指す。
- 研究教科である「生活科」「総合的な学習の時間」における探究的な学習により、主体的に学びを進める力を育み、自力や他者との協働による課題解決の経験を通じて自己有用感を育む。
- 学習者用端末の高学年での持ち帰りの推進などにより、「デジタルドリル」を活用を含めた家庭学習の充実と習慣化を図る。

## 【 全体の概要 】

### 平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	63	55	51
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

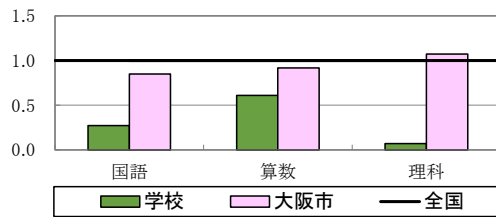
平均正答率(対全国比)



### 平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	0.9	2.2	0.2
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

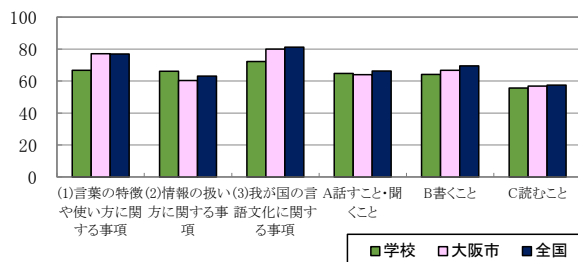
平均無解答率(対全国比)



## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	2	66.7	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	66.1	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	72.2	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	64.8	64.0	66.3
B 書くこと	3	64.2	66.7	69.5
C 読むこと	4	55.6	56.9	57.5

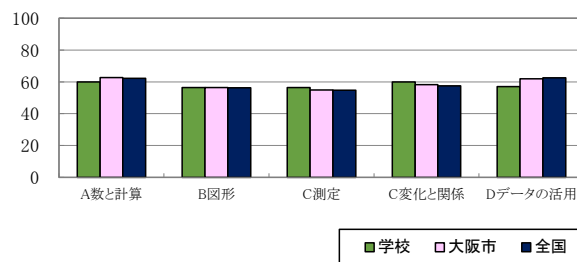
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



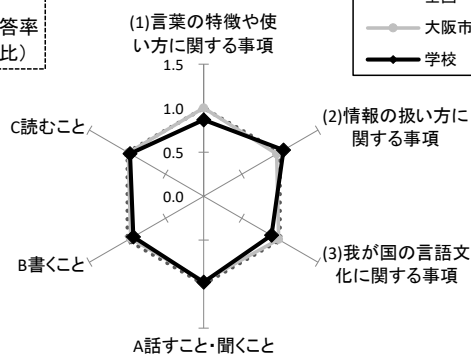
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.0	62.7	62.3
B 図形	4	56.5	56.4	56.2
C 測定	2	56.5	54.9	54.8
C 変化と関係	3	59.9	58.2	57.5
D データの活用	5	57.0	61.9	62.6

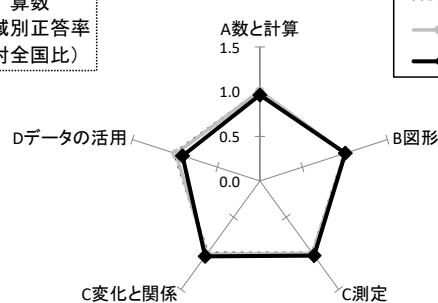
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



### 国語 内容別正答率 (対全国比)

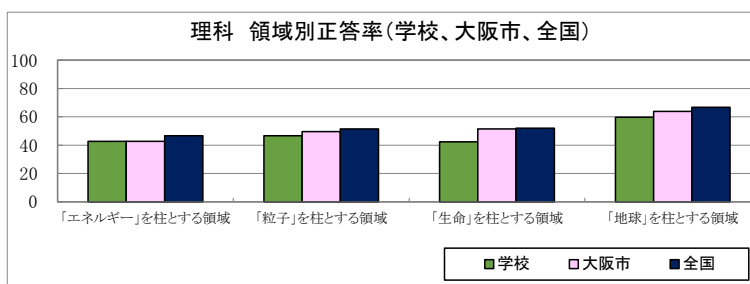


### 算数 領域別正答率 (対全国比)

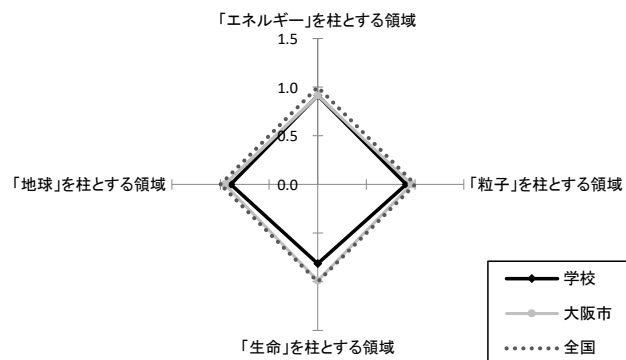


## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	42.7	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	46.7	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	42.3	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	59.7	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



## 児童質問より

質問番号

質問事項

5

自分には、よいところがあると思いますか

1

2

3

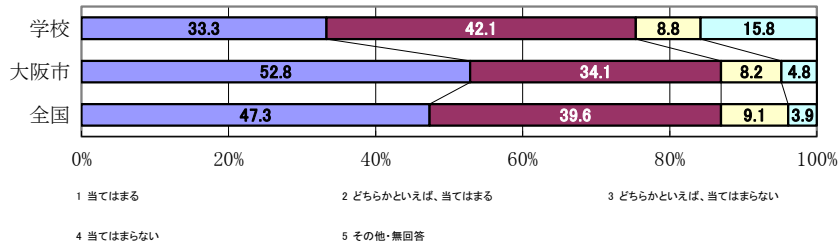
4

5

6

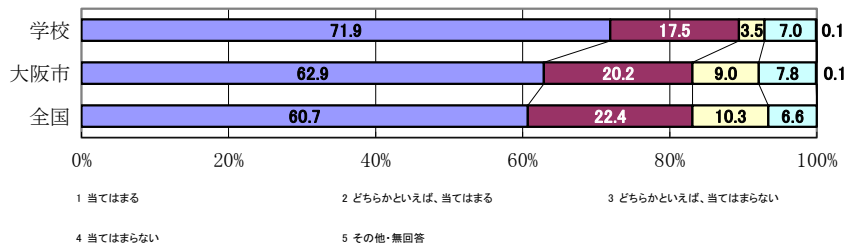
7

8



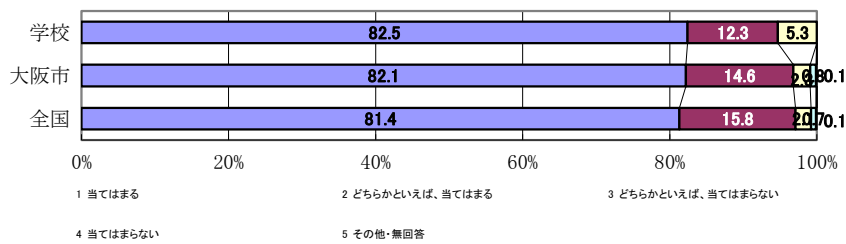
7

将来の夢や目標を持っていますか



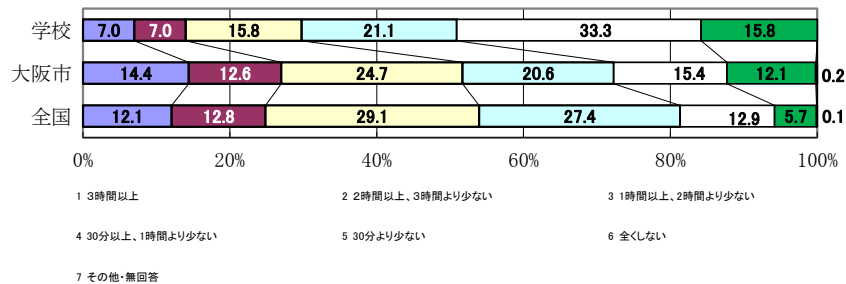
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



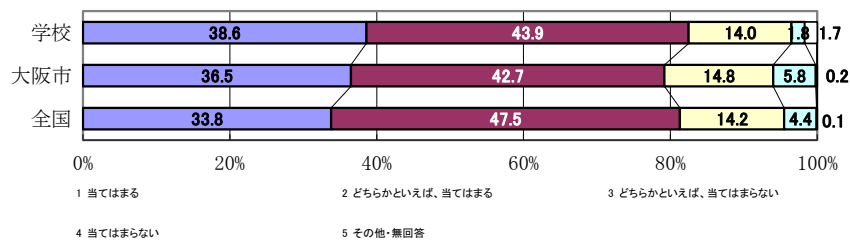
17

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



27

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



## 学校質問より

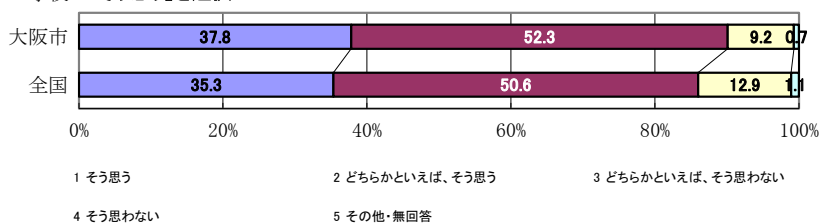
質問番号  
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

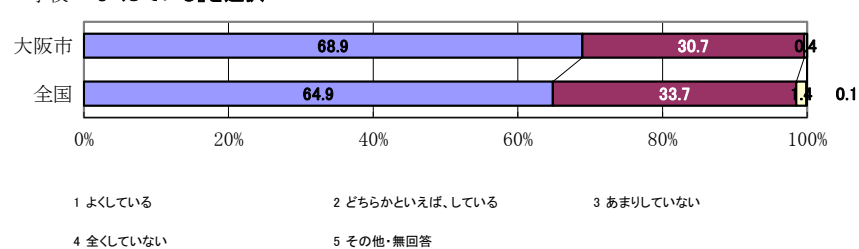
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

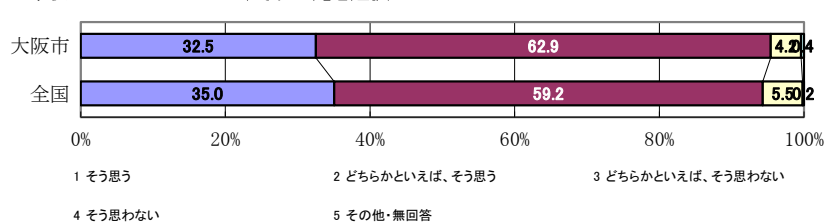
学校 「よくしている」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

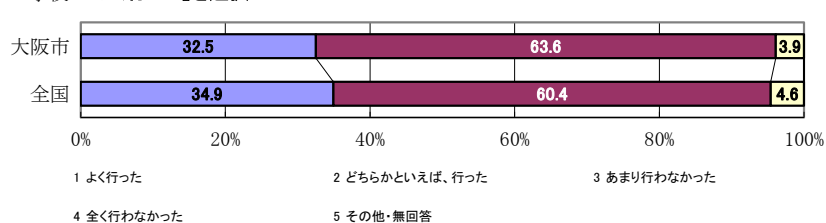
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「よく行った」を選択



76

地域学校協働活動の仕組みを生かして、保護者や地域住民との協働による活動を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

